

## 1 国語

学校番号

208

## 令和3年度 国語科

教科	国語科	科目	現代文B (ステップアップ)	単位数	3	年次	3
使用教科書	改訂版 現代文B (数研出版)						
副教材等	日本文学史必携 新装版 現代文読解WORKS レッスン1 現代文プレトレ標準編 等						

## 1 担当者からのメッセージ

- ・3年生では幅広い年代、ジャンル、内容の文章をより深く読み、仲間の感想や意見を聞き取ると同時に、自分なりの意見を持ち、適切に伝えられるようにしましょう。
- ・文章記述、発表など、アクティブな活動を取り入れた授業を行います。
- ・予習として必ず本文を読んでおきましょう。授業の後には内容を振り返って復習してください。
- ・目標に向け、学習計画を立てて臨んでください。

## 2 学習の到達目標

- ・目的や場にふさわしい語句を選んで、適切に思いや考えを表現することができる。
- ・目的や場に応じて的確に文章の内容や構成、登場人物の心情を理解することができる。
- ・人間関係において、互いを尊重し、相互理解を深め、正しく意思を伝え合うことができる。
- ・言語感覚を磨き、論理的な思考力、豊かな想像力を場面に応じて活用することができる。

## 3 学習評価(評価規準と評価方法)

観 点	a:関心・意欲 ・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観 点 の 趣 旨	国語で理解し表現する力を進んで高めるとともに、国語を尊重してその向上を図ろうとしている。	目的や場に応じて効果的に話したり的確に聞き取ったりして、自分の考えを深め、発展させている。	必要な情報を用い、相手や目的、課題に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えを深め、発展させている。	近代以降の文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	言語文化及び言葉の特徴やきまりなどについての理解を深め、知識を身に付けている。
主たる評価方法	行動の観察 記述の点検 (ノート、ワークシート等)	行動の観察 (発表等のパフォーマンスの評価)	記述の確認及び分析 (ワークシート、原稿用紙)	記述の確認及び分析(ワークシート) 定期考査	行動の観察 記述の確認 (ノート、ワークシート等) 定期考査 小テスト
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。					

#### 4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
1学期	評論の内容を理解するⅠ	論理的な文章を読んで、展開の仕方や論点の把握などができるようになる。 教材：西垣通「知識社会という幻想」 岡真理「『文化が違う』とは何を意味するのか？」	○			◎	○	a: 文脈を考え、語句や表現に注意しながら文章を読んでいる。 d: 文章を読んで関心をもった事柄などについて課題を設定し、様々な資料を調べ、その成果をまとめて発表する。 e: 文章の要点を押さえながら短くまとめる方法を身につけている。	a: 行動の観察と確認 d、e: 記述の分析及び定期考査
	小説の内容を理解するⅠ	主人公の抑圧された現実からの解放と喜びの感覚を、独特な感性で描いた文学作品を味わう。 教材：梶井基次郎「檸檬」	○	◎			○	a: 文学的な文章を読んで、人物の生き方やその表現の仕方などについて話し合うこと。 b: 文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み発表する。 e: 国語における言葉の成り立ち、表現の特色及び言語の役割などを理解している。	a: 行動の観察及び記述の点検 b: 記述の確認及び発表準備の観察 e: 記述の確認及び定期考査
	限定された時間内で	国語常識や現代におけるキーワードについて学び、定められた短時間で、文章の筆者が何を伝えようとしているかを深く、正確につかめるようになる。 教材：副教材			○	○	◎	c: 条件に応じた文章を効果的に表現している。また適切な漢字を用いて書くことができる。 d、e: 現代におけるキーワードを理解し、筆者の主張を正しく読み取る。	c、d、e: 記述の点検と確認及び定期考査
2学期	評論の内容を理解するⅡ	「である」理論と「する」理論に基づく社会と、それぞれの価値の倒錯について理解する。 教材：丸山真男「『である』ことと『する』こと」	○			◎	○	a: 文章の内容を叙述に即して的確に読み取ろうとする。 d: 文章を読んで関心をもった事柄などについて課題を設定し、資料を調べ、その成果をまとめて発表し、報告書に編集する。 e: 読むことに必要な文章の組み立て、語句の意味、語句の用法、表記の仕方について理解している。	a、d、e: 行動の観察と確認及び定期考査
	小説の内容を理解するⅡ	描かれた時代背景と、雅文体による趣と哀感を味わいながら、近代知識人の苦悩と挫折を読み取る。 教材：森鴎外「舞姫」	○			◎	○	a: 表現に即して、人物や情景の描写を味わいながら小説を読もうとしている。 d: 情景や描写から、人物の様子について考察しながら読んでいる。 e: 作者の思想や作品について、理解を深めている。	a: 行動の観察及び記述の点検 d、e: 記述の確認及び定期考査

	創作の楽しみ・ 短歌と俳句	著名な短歌・俳句を鑑賞し、きまりを踏まえて自分で創作する。	○	○	◎		a：作品の背景を踏まえ、短歌や俳句を味わおうとしている。 b、c：音律や表現法などのきまりについて理解し、実際に創作しようとしている。	a、b、c： 行動の観察と記述の点検と確認及び分析	
	限定された時間内で 文章を正確に読み取り、書き写す	国語常識や現代におけるキーワードについて学び、定められた短時間で、文章の筆者が何を伝えようとしているかを深く、正確につかめるようになる。 教材：副教材			○	○	◎	c：条件に応じた文章を効果的に表現している。また適切な漢字を用いて書くことができる。 d、e：現代におけるキーワードを理解し、筆者の主張を正しく読み取る。	c、d、e：記述の点検と確認及び定期考査
3学期	言語活動	自分でテーマを決め、それについて調べたことをまとめたり、発表したりする。 教材：情報の探し方	○	○			◎	a：関心ある事柄についての的確な調査方法を選択している。 b：調べた結果をわかりやすくまとめ、伝えることができている。 e：アンケート調査の方法や分析の仕方を理解している。	a、b、e： 行動の観察と確認及び分析

※ 表中の観点について a:関心・意欲・態度      b:話す・聞く能力      c:書く能力  
d:読む能力      e:知識・理解

※ 評価の観点のうち「関心・意欲・態度」と「知識・理解」については、すべての単元に位置付けて○印を、また、その単元で主として扱う国語の領域（「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」）に関わる観点には◎を付している。